

2023年度 第1四半期 決算説明資料

2023年8月7日
日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

連結損益概要

(億円)

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,648	2,874	226	8.6%
営業利益	▲29	8	37	—
経常利益	12	4	▲8	▲70.5%
当期純利益*	▲82	▲53	29	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収
- 営業利益は、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 特別損益は、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益や、Opalのグラフィック用紙事業撤退損を計上

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,320	1,433	113	▲22	2	24
生活関連	1,010	1,068	58	▲26	▲23	3
エネルギー	82	137	55	▲3	5	8
木材・建材・ 土木建設関連	167	167	0	19	23	4
その他	69	69	0	3	1	▲2
合計	2,648	2,874	226	▲29	8	37

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	227	185	—	42	—
原燃料価格	▲198	▲161	チップ ▲35、古紙 ▲12、パルプ ▲2、 重油 ▲2、石炭 ▲53、LNG ▲3、薬品他 ▲54 (価格影響 ▲129、為替影響 ▲32)	▲37	パルプ ▲11、チップ ▲3、 LNG ▲1、薬品他 ▲22
コストダウン等	41	39	原価改善 22、秋田・石巻停機影響 4、 労務費 7、物流費 6	2	—
その他	▲43	▲39	海外事業 ▲12、減価償却 6、退職給付費用 3、 受払影響ほか ▲36	▲4	海外事業 0、 受払影響ほか ▲4
合計	27	24	国内 36、海外 ▲12	3	国内 3、海外 0
その他事業	10	エネルギー 8、木建土 4、その他 ▲2			
営業利益	37				
営業外損益	▲45	金融収支 ▲5、持分法投資損益 ▲10、為替差額 ▲20、その他 ▲10			
経常利益	▲8				

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
1,320	1,433	113	▲22	2	24

- 国内
 - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - ・石炭やチップなど原燃料価格の上昇によるコストアップが続く中、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 海外
 - ・十條サーマル(JTOy)は、欧州における感熱紙の需要が低調に推移したことと、原燃料価格上昇により、営業利益は赤字となった。

生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益			
	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比	
国内	461	503	42	11	14	3	パッケージ 7、ケミカル ▲9 家庭紙・ヘルスケア 5
海外	549	565	16	▲37	▲37	0	Opal ▲25、NDP 25、TSP 0
合計	1,010	1,068	58	▲26	▲23	3	

- 国内
 - ・トイレットロールやヘルスケア製品などの販売数量は増加。
 - ・機能性フィルムや機能性コーティング樹脂、液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・原燃料価格高騰の影響はあったものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、グラフィック用紙事業の撤退に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減益となった。
 - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)は、前年は第1四半期に休転を実施したため、前年同期比で増益となった。(2023年度は第2四半期に休転を実施)

エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比
82	137	55	▲3	5	8

・勇払エネルギーセンターが営業運転を開始したことや電力価格の上昇などにより、増収増益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年 同期比
167	167	0	19	23	4

・新設住宅着工戸数が減少し、原木や建材品などの販売数量は前年同期を下回ったものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収増益となった。

連結損益概要

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,526	12,300	774	6.7%
営業利益	▲269	240	509	—
経常利益	▲245	180	425	—
当期純利益*	▲504	150	654	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■2023年度の業績予想は、5月15日に公表した内容から変更ありません。

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年 同期比	2022年度 実績	2023年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,632	6,150	518	▲292	90	382
生活関連	4,401	4,410	9	▲78	10	88
エネルギー	499	680	181	▲17	30	47
木材・建材・ 土木建設関連	689	750	61	89	70	▲19
その他	305	310	5	29	40	11
合計	11,526	12,300	774	▲269	240	509

主要な前提条件

■国内販売数量(対前年)

	上期	下期	通期
新聞用紙	▲12%	▲12%	▲12%
印刷用紙	▲6%	▲8%	▲7%
情報用紙	▲2%	▲4%	▲3%
段原紙	0%	3%	1%

■主要原材料価格、為替

	通期
為替(米ドル)	135円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+10億円/年
石炭	300ドル/t (2023年3月末の在庫影響、および今後の価格変動リスクを勘案)
原油	85ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案



増減要因内訳

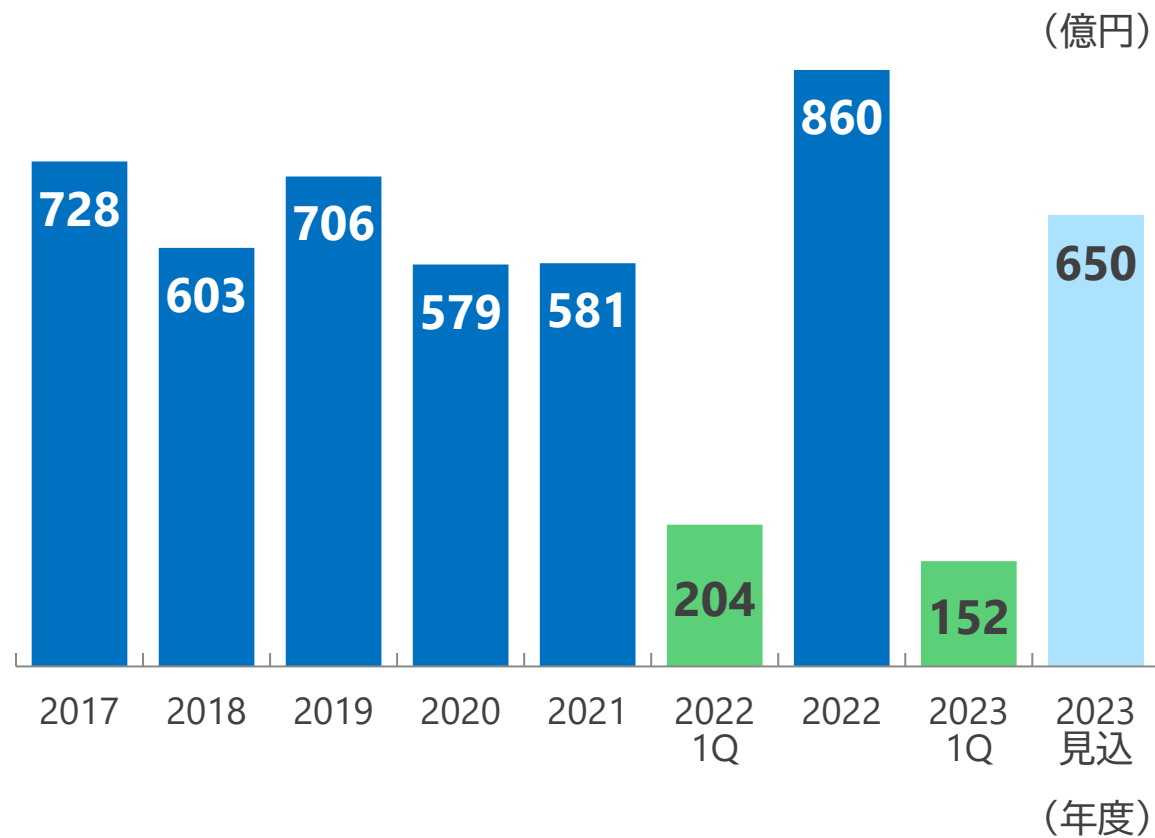
(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	801	634	—	167	—
原燃料価格	▲338	▲252	チップ ▲88、古紙 ▲33、パルプ ▲2、 重油 ▲3、石炭 ▲21、LNG 5、薬品他 ▲110 (価格影響 ▲260、為替影響 8)	▲86	チップ▲7、パルプ ▲19、 薬品他 ▲60
コストダウン等	108	99	原価改善 61、秋田・石巻停機影響 10、 労務費 24、物流費 4	9	—
その他	▲101	▲99	海外事業 2、減価償却 28、退職給付費用 10、 受払影響ほか ▲139	▲2	海外事業 3、その他 ▲5
合計	470	382	国内 380、海外 2	88	国内 85、海外 3
その他事業	39	エネルギー 47、木建土 ▲19、その他 11			
営業利益	509	国内：パッケージ 21、ケミカル 22 家庭紙・ヘルスケア 42 海外：Opal 9、NDP ▲7、TSP 1			

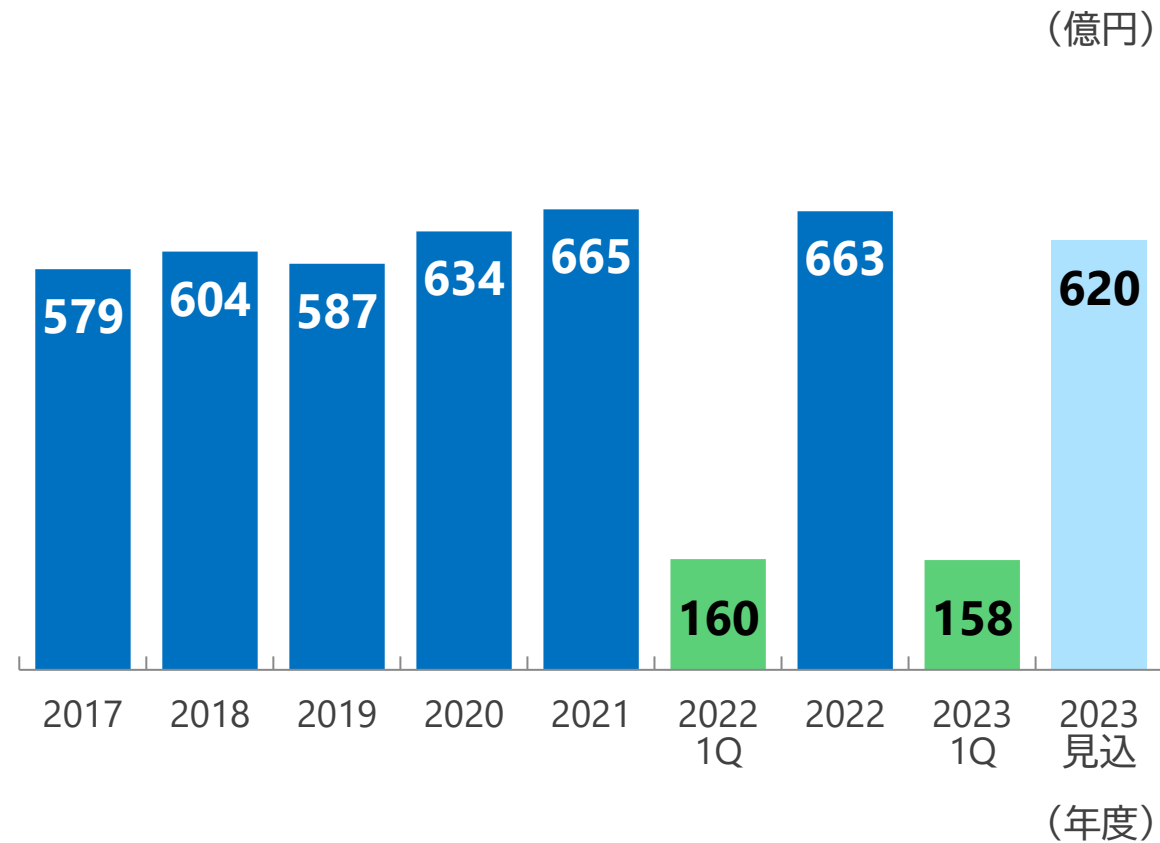
	(千t)		
	2022年度 1Q	2023年度 1Q	対2022
新聞用紙	148	136	▲7.8%
印刷用紙	252	236	▲6.1%
情報用紙	102	96	▲5.4%
その他	79	73	▲7.1%
国内	580	542	▲6.6%
輸出	65	40	▲38.6%
洋紙 合計	644	581	▲9.8%
段ボール原紙	415	400	▲3.6%
紙器用板紙他	83	81	▲2.6%
国内	498	481	▲3.4%
輸出	42	32	▲25.4%
板紙 合計	540	512	▲5.1%
洋紙・板紙 合計	1,184	1,094	▲7.7%

* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

設備投資額*



減価償却費



*建仮計上ベース

(億円)

	2022年度				2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	1,320	1,394	1,448	1,470	1,433	6,150
生活関連	1,010	1,113	1,162	1,116	1,068	4,410
エネルギー	82	115	125	177	137	680
木材・建材・ 土木建設関連	167	167	174	181	167	750
その他	69	72	76	88	69	310
合計	2,648	2,861	2,985	3,032	2,874	12,300

セグメント別 営業利益推移

(億円)

	2022年度				2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	▲22	▲77	▲121	▲72	2	90
生活関連	▲26	▲27	▲13	▲12	▲23	10
エネルギー	▲3	▲16	▲3	5	5	30
木材・建材・ 土木建設関連	19	20	24	26	23	70
その他	3	9	5	12	1	40
合計	▲29	▲91	▲108	▲41	8	240

紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2023年度 第1四半期)

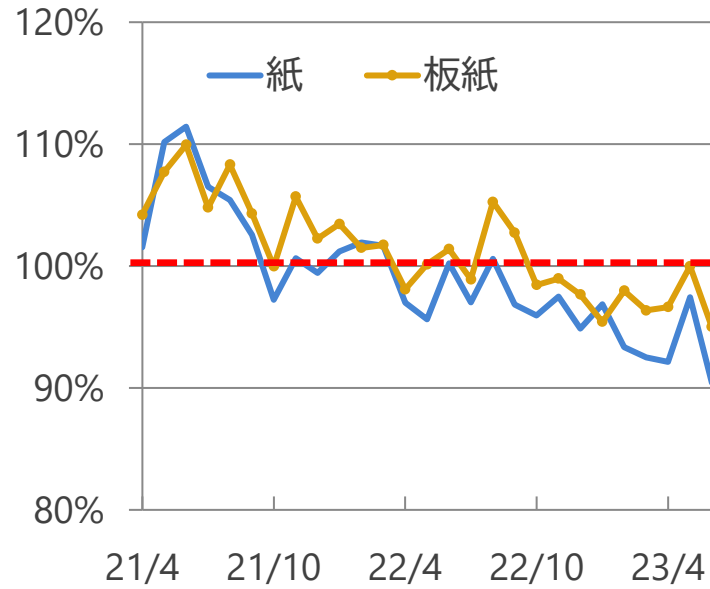
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2022	数量	対2022	数量	対2022
新聞用紙	413	▲9.7%	0	—	0	25.8%
印刷・情報用紙	1,246	▲6.4%	110	▲25.8%	133	▲1.6%
塗工印刷用紙*	665	▲5.6%	85	▲25.5%	28	32.8%
非塗工印刷用紙	326	▲7.8%	20	▲24.3%	3	▲39.9%
情報用紙	255	▲6.6%	5	▲35.0%	102	▲6.7%
その他	730	▲5.6%	56	▲17.3%	11	▲14.0%
紙 合計	2,389	▲6.8%	166	▲23.1%	145	▲2.6%
段ボール原紙	2,228	▲2.8%	182	▲29.4%	5	▲66.4%
紙器用板紙他	494	▲3.3%	10	▲34.1%	54	▲17.6%
板紙 合計	2,722	▲2.9%	192	▲29.7%	59	▲26.2%
紙・板紙合計	5,111	▲4.7%	358	▲26.8%	203	▲10.8%

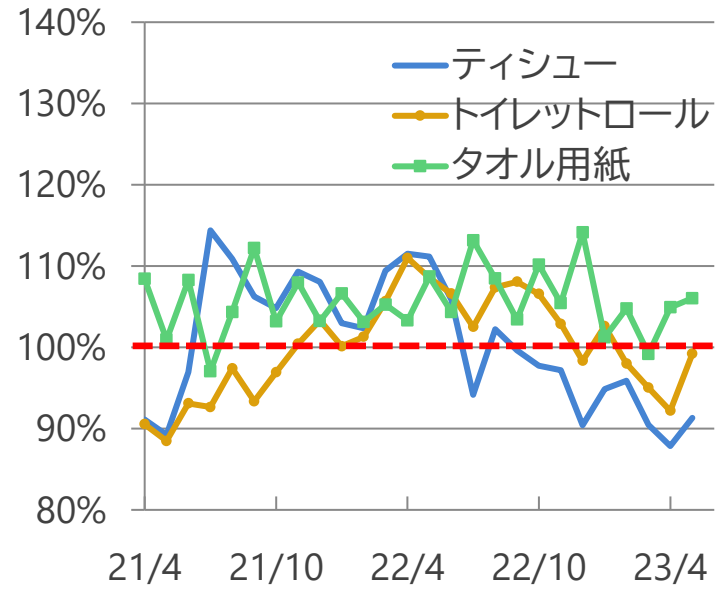
*塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

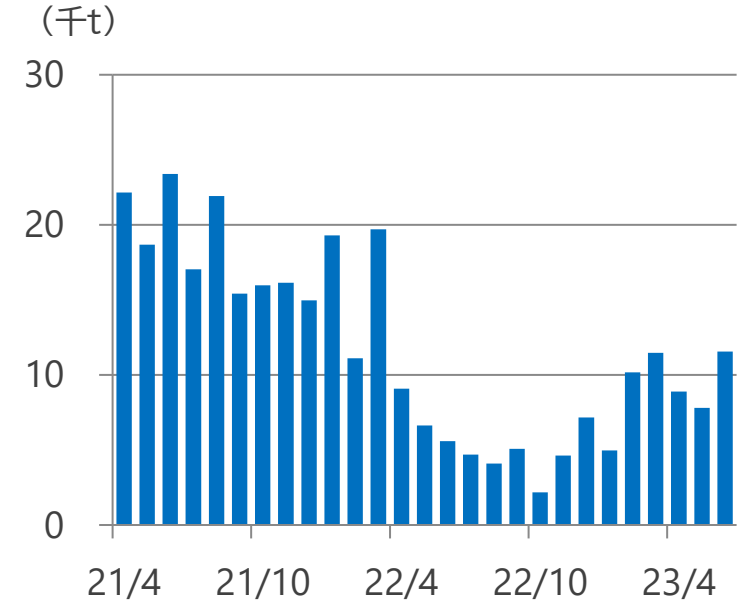
メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)



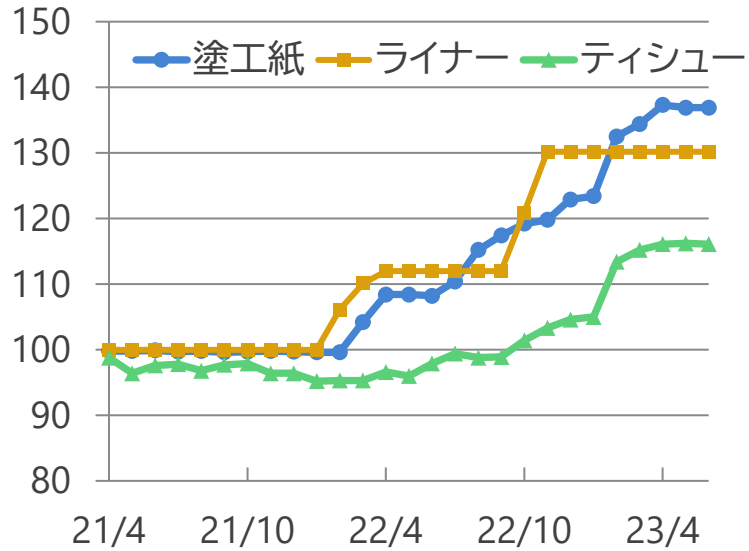
塗工紙輸入推移



出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

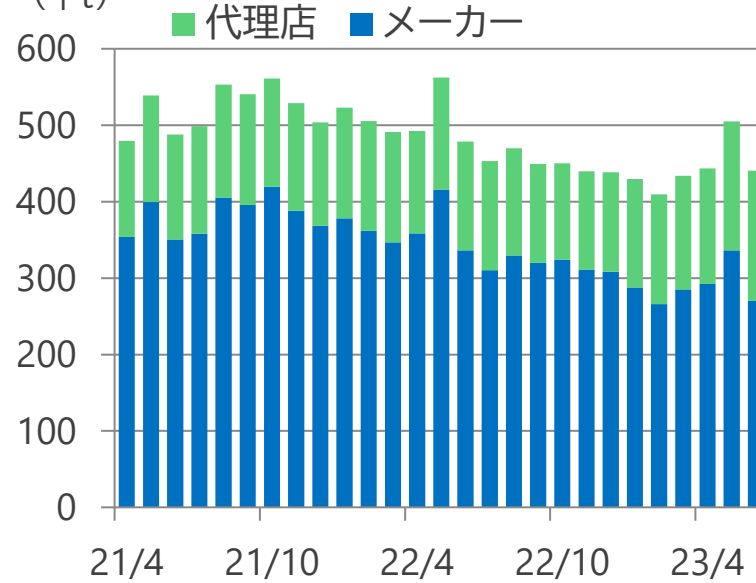
品種別価格動向

(2020年 = 100)



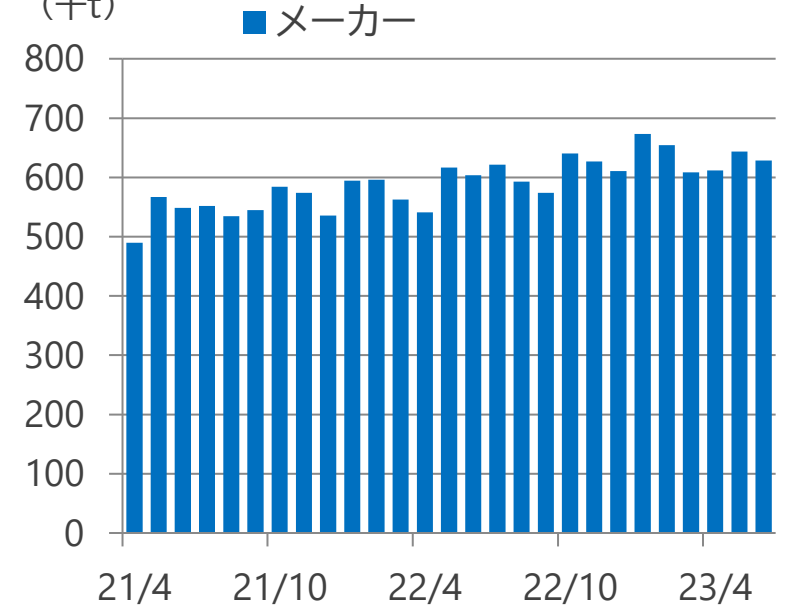
塗工紙在庫高推移

(千t)



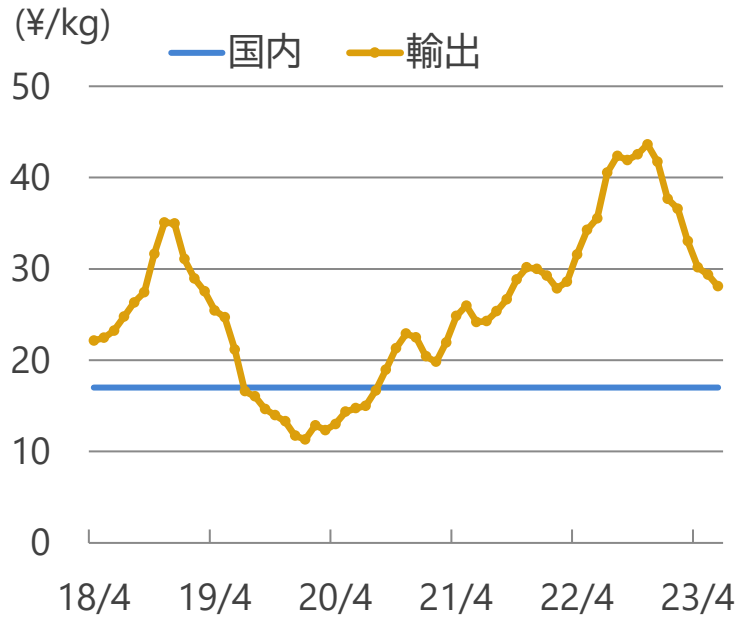
段原紙在庫高推移

(千t)

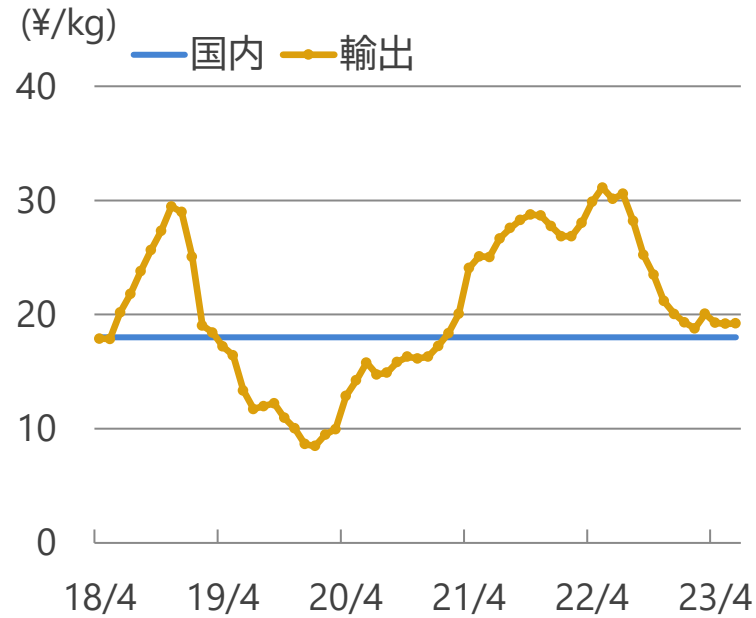


出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

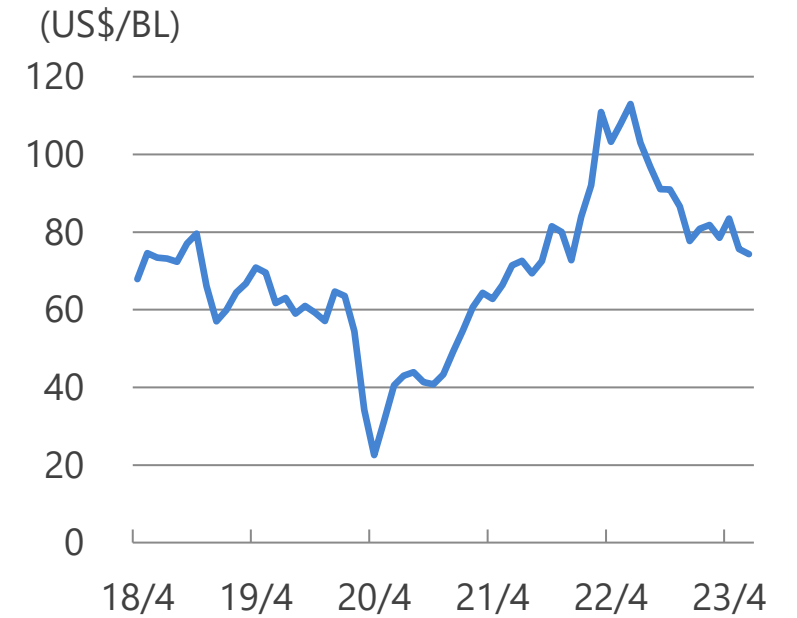
新聞古紙



段ボール古紙



原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社